

2025/1/14 (火)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 7章 13-14節 (新約聖書 11頁)

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道も広い。そして、そこから入る者は多い。命に通じる門は狭く、その道も細い。そして、それを見いだす者は少ない。

信じ、生きる

「命に通じる門は狭く、その道も細い」とは、聖書の言葉を信じて生きることです。それは奇跡に遭遇するようなものかもしれませんが。でもよく考えてみれば生きることそのものが難しく、奇跡のようなことです。だから大切なのはなぜと悩みながらも、信じて生きることです。

どんなに豊かで健康であっても、誰もが等しく老いていきます。そして天国までお金を持っていきませんし、いつまでも健やかではられません。どんな人にも艱難があり、耐え忍び、鍛えられ、生きる望みをつないでいきます。

誘惑も試練もあります。その時、砂の上に建てた家はどんなにりっぱでも雨で流されます。でも岩の上に建てた家なら流されません。どうして、なぜと理解できない苦しみが降りかかっても、それでも信じるか、生きるかと問われます。それが狭い門、細い道です。

お金や健康に至る門は大きく、その道は広く見えます。でもそれはいずれ最後を迎え終わります。どこまでも希望を失わずに、信じて歩めることが幸いであり、救いです。信じて生きることはテストで百点を取るより、億万長者になるより難しいのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは「命に通じる門は狭く、その道も細い」と言われました。どうかあなたに与えられた命を、いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝して生きることができますように導いてください。いま愚かな争いで、災害で住まいを失った人びと、また病にある方々を覚えて祈ります。どうかあなたが共におられ、互いに祈り励まし、喜び感謝の時をひと時でも早く迎えることができますようにお守りください。どうか今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン